

## 保健所設置区市が設定する数値目標の考え方

- 次の 2 項目について、保健所設置区市は、以下の都の考え方を踏まえて設定

## Ⅰ 検査体制（検査の実施件数（実施能力）、検査設備の整備数）

- ✓ 地方衛生研究所等における数値目標及び施設の設備数を記載
- ✓ 地方衛生研究所等を有しない保健所設置区市は、**都と連携し都健康安全研究センターで実施する検査実施数（1,000件／日）の中で対応**する。

## Ⅱ 人材の育成・資質の向上（医療従事者や保健所職員等への研修・訓練回数）

- ✓ 保健所職員及び保健所設置区市の職員等に対する**研修及び訓練を年 1 回以上実施**
- ✓ 国等が実施する研修への参加に派遣した場合以外にも、**都が行う研修・訓練に保健所職員を派遣した場合も**含める。

- 保健所の体制整備については、実効性を確保するため、都の独自の考え方を踏まえて保健所設置区市が設定

## Ⅲ.保健所の体制整備（保健所の感染症対応業務を行う人員確保数、即応可能なIHEAT要員の確保数(IHEAT研修受講者数)）

- ✓ 発生から感染拡大期まで**3つのフェーズに分けて必要な人員体制を算出**

※都は検討イメージとして、

流行初期①(発生の公表～1ヶ月、第3波R2.11月頃想定)

流行初期②(1～3ヶ月、第3波R2.12月以降想定)

流行初期以降(3～6か月、第6波想定) の3段階を示し、**各区市の判断で必要な人員体制を算出**

<参考：国の考え方>

- ・保健所における**流行開始から 1 ヶ月間**において想定される業務量に対応する人員

## 保健所設置区市の予防計画における数値目標について②

	Ⅰ.検査体制（※1）		Ⅱ.人材の育成・ 資質の向上 （※2）	Ⅲ.保健所の体制整備（※3）				備考
	実施能力	検査設備		流行初期①	流行初期②	初期以降	I H E A T	
1. 千代田区	20件/日	2台	年2回程度	20人	25人	45人	4人	
2. 中央区	東京都と連携し、 都全体1,000件の中で対応		年2回程度	40人	45人	70人	2人	
3. 港区	80件/日	4台	年1回以上	128人	155人	202人	18人	流行初期①は第2波を想定
4. 新宿区	東京都と連携し、 都全体1,000件の中で対応		年1回以上	64人	86人	246人	20人	
5. 文京区	東京都と連携し、 都全体1,000件の中で対応		年1回以上	84人	111人	138人	4人	
6. 台東区	東京都と連携し、 都全体1,000件の中で対応		年1回以上	48人	53人	104人	流行初期①② (4人) 流行初期以降 (12人)	
7. 墨田区	東京都と連携し、 都全体1,000件の中で対応		研修：年2回 訓練：年1回以上	31人	35人	74人	2人	
8. 江東区	東京都と連携し、 都全体1,000件の中で対応		年1回以上	10人	30人	最大 120人	—	
9. 品川区	10件/日	1台	年1回以上	40人	80人	125人	4人	
10. 目黒区	東京都と連携し、 都全体1,000件の中で対応		年1回以上	37人	55人	89人	10人	

# 保健所設置区市の予防計画における数値目標について③

	Ⅰ.検査体制（※1）		Ⅱ.人材の育成・ 資質の向上 （※2）	Ⅲ.保健所の体制整備（※3）				備考
	実施能力	検査設備		流行初期①	流行初期②	初期以降	I H E A T	
11. 大田区	40件/日	2台	年1回以上	70人	150人	255人	—	
12. 世田谷区	東京都と連携し、 都全体1,000件の中で対応		年1回以上	272人	306人	306人	—	流行初期①は第6波想定、 流行初期②以降は第7波 を想定
	60件/日(R11~)	4台(R11~)						
13. 渋谷区	東京都と連携し、 都全体1,000件の中で対応		年1回	40人	50人	70~80人	2人	
14. 中野区	東京都と連携し、 都全体1,000件の中で対応		年1回程度	68人	122人	168人	—	
15. 杉並区	90件/日	7台	年1回以上	72人	130人	170人	15人	流行初期①は第1波、② は第3波、初期以降は第 7波を想定
16. 豊島区	東京都と連携し、 都全体1,000件の中で対応		年1回以上	37人	58人	149人	—	
17. 北区	東京都と連携し、 都全体1,000件の中で対応		年1回以上	28人	44人	103人	—	
18. 荒川区	東京都と連携し、 都全体1,000件の中で対応		年1回以上	27人	64人	84人	10名以上	
19. 板橋区	東京都と連携し、 都全体1,000件の中で対応		年1回	42人	131人	158人	—	
20. 練馬区	東京都と連携し、 都全体1,000件の中で対応		年1回以上	100人	100人	180人	—	

# 保健所設置区市の予防計画における数値目標について④

	Ⅰ.検査体制（※1）		Ⅱ.人材の育成・ 資質の向上 （※2）	Ⅲ.保健所の体制整備（※3）				備考
	実施能力	検査設備		流行初期①	流行初期②	初期以降	I H E A T	
21. 足立区	20件/日	2台	年1回以上	62人	102人	129人	—	
22. 葛飾区	東京都と連携し、 都全体1,000件の中で対応		年1回以上	73人	73人	73人	50人	国の考え方に基づいて算出
23. 江戸川区	20件/日	2台	年1回以上	41人	71人	340人	—	
24. 八王子市	東京都と連携し、 都全体1,000件の中で対応		年1回以上	44人	53人	69人	10人	
25. 町田市	東京都と連携し、 都全体1,000件の中で対応		年3回以上	30人	60人	95人	2人	

## ※1 検査体制について

- ・実施能力の欄に記載の件数は、地方衛生研究所等で実施する検査についてであり、自区市の施設で実施する検査以外にも、都と連携し、都健康安全研究センターや医療機関・民間検査機関で実施する検査も活用して対応する。
- ・検査機器は、リアルタイムPCR装置もしくは全自動核酸抽出機器を想定している。

## ※2 研修・訓練回数について

- ・研修及び訓練の区分けがない区市は、双方を含む数値として記載している。

## ※3 保健所体制

- ・人員は総数（事務職、医療専門職等含む）で記載している。
- ・I H E A Tについては、確保人員に含まれている区市は（ ）内数字で記載している。